

福祉の将来

「若い社員さんが多いなあ」過日、新潟市で開かれたアミューズメント施設グループの50周年祝賀会で真っ先に思ったことです。誠に明るい。県内に21店舗を展開する業界の覇者。盛大な式典での主賓祝辞。不思議に思われた人も多かったと思います。実は、創業者であるグループ会長の強い思いがそこに。旧堀之内町でご夫婦二人三脚での開業の3年後、六日町店開業がグループ発展の基礎となりました。ご子息たちも幼少時代をここで過ごし「いつか南魚沼に恩返しをしたかった」と。昨春開園した八幡保育園の建設時、仮園舎に空き施設を貸していただき、賃借料と同額をご寄付いただいたこともその思いからでした。会長とは親しくなった気楽さも手伝い「会長、これからの時代は福祉こそアミューズメントではないでしょうか？」と生意気を言った私に「なぜ?」「議員時代、政務調査でいろんな場所に行き、特に印象に残るのが浦安市にある福祉施設でし

た。『人生の現役養成道場』と掲げ、お年寄りの居場所ともなっている健康増進のための施設。施設内の通貨があり、リハビリや運動、ボランティアをすると通貨が得られ、さまざまな講座やイベント参加、昼食に得た通貨が使える。調理や講師など元気で他者の面倒を見られる人は対価を得る。一番感激したのは麻雀ルームの盛況ぶり。若いスタッフもいきいきと働いている。これだ!と思った。今後避けられない高齢化や人口減の中でアミューズメント業界のノウハウには行政との協働の将来展望もあるのでは?と。「市長、一緒にそこを見に行きたい」会長と哄笑となりましたが。健康寿命の増進とか言葉では何だかよくわからない。これからの福祉施設はどうあるべきか。私が夢想している将来像。会長とのエピソードも交えて、若い社員さんも大勢の会場で行った祝辞。「夢ですが」と前置きしつつ。その後の宴席で「同感です」と私に賛同してくれた彼らに爽やかな明るい思いを覚えたのです。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~ boast of my country ~

シリーズ
第67回

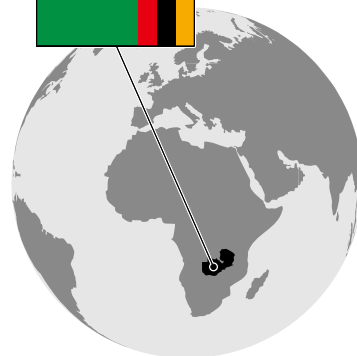
ザンビア共和国 クンダ ムスンガイラ さん



私の国はこんなところ

私の国は、文化遺産が豊かで平和な国です。世界七不思議の1つ、ビクトリアの滝がよく知られています。野生動物の宝庫でもあり、象、ライオン、水牛、サイ、アフリカヒョウの5大動物などが19ある国立公園にいます。湖や川、日本人が好きな温泉もあります。

主食はシマと呼ばれる白とうもろこしの粉をお湯と混ぜたもので、キャッサバ芋、魚、牛肉、豆などのスープと一緒に食べます。人々はとても温かく友好的です。みなさん、いつでもザンビアに来てください。



南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼は山や川、森や花の景観がとてもきれいです。四季の移ろいと共に変わる風景はどの季節も美しく、四季そのものと、一年を通してさまざまな文化やお祭りを体験できたことをうれしく思います。特に桜の花が咲く春が好きです。冬もまた楽しかったです。スキーをし、雪祭りに行き、雪だるまやランタン作りをしました。南魚沼は、雪を経験するのにはもってこいの場所です。おいしいお米の地で、田植えや稲刈りもまたいい思い出です。食べ物、蕎麦と天ぷらが大好きです。

ザンビア共和国

[公用語]	英語
[首都]	ルサカ
[面積]	752,614km ² (38位)
[人口]	17,218,000人
[GDP(PPP)]	688億ドル
[通貨]	ザンビア・クワチャ (ZMK)

※GDPは国内総生産のことで、購買力平価説 (PPP) により算出した数値です